

# やすらぎ

第29号

特養住民／野中 ツナ 筆

いい歌っこ聞かせでもらったあ〜。



表紙の写真

9月14日、住民の健康を祝う集いがありました。式典の後、歌手の円山和子さんによる歌謡ショーが行なわれ、その歌声に多くの住民が圧倒され、感動されていました。住民の方一人ひとりと握手を交わされ、力強さと暖かさが印象に残る午後のひとときでした。

# 介護保険制度

開始から5年が経過し、私たちの生活を支える制度としてだいぶ定着してきたように感じられる介護保険制度。しかし、現状は年々増え続ける給付費により収支のバランスを保ち続けることができなくなってきており、制度を持続させていくためには大きな見直しが必要不可欠な状況となっています。

介護保険のサービスは在宅サービスと施設サービスに大きく分かれています。その施設サービスの利用者自己負担が、この10月より見直されることが決定されました。具体的には以下の3点が変更になります。

- ①施設サービス(短期入所含む)を利用した際の居住費(滞在費)・食費が全額自己負担になります。
- ②利用者負担段階に応じて、居住費(滞在費)・食費に負担限度額が設けられます。
- ③利用者負担段階の一部で高額介護サービス費が引き下げられます。

## ①の見直しの趣旨・内容

現在施設サービスを利用されている方は、介護費の1割と食費の一部が自己負担となっており、光熱水費を含めた居住費および食費の大部分は介護保険から給付されていることとなります。しかし、在宅サービスを利用されている方は居住費も食費も全てご自分で支払いながら生活されています。その公平性を図るため、これまで保険給付されていた施設利用者の居住費・食費が全額自己負担となります。

では、実際に居住費・食費はどれくらいの金額になるのか。それは利用する居室が個室であるか多床室(相部屋)であるかによって違いますし、また所得により区分された負担段階によっても違ってきます。国によって示されている基準費用額のおおよその月額、多床室利用の場合で居住費1万円、食費4万2千円とされています。

## ②の見直しの趣旨・内容

上に示した基準費用額はあくまでも基準となるものであり、所得の低い方に対してはその段階に応じた負担限度額が設定されています。利用者負担段階は以下の4段階に分けられています。

第1段階	○市町村民税世帯非課税の老齢福祉年金受給者 ○生活保護受給者
第2段階	○市町村民税世帯非課税であって、課税年金収入額と合計所得金額の合計が80万円以下の方
第3段階	○市町村民税世帯非課税であって、利用者負担第2段階以外の方
第4段階	○上記以外の方

利用者負担段階に応じた居住費・食費の負担限度額は以下のとおりです。

利用者負担段階	1日あたりの居住費の限度額		1日あたりの居住費の限度額
	個室	多床室	
第1段階	320円	0円	300円
第2段階	420円	320円	390円
第3段階	820円	320円	650円

言いたいことがあれば言っているが、ヘルパーさんは気を使っている。

皆さんによくしてもらっている。このような制度が出て来て喜んでいる。

毎日が留守番。家の人たちからも当てにされている。曾孫(ひまこ)が学校から帰ってくるのを待ちながら、夕ご飯と味噌汁をつくっている。

施設長 高橋 一雄

そして、その報告会も年二回開催してあるところですが、本年度第一回の報告会を開催しましたので、その内容をお知らせします。訪問介護以外の方でも、意見要望をお聞かせいただいで、より良いヘルパー活動を展開したいと存じておりますので、よろしくお願ひします。

# 改正について



## 次のような介護保険についての話を聞きますか？

「まだ、かんげえねえどおもつたら」「この歳になって、いまさら、いらねえべえ」など。介護保険サービスを利用しない人の話です。

つまり、まだ介護が必要でない、または、年寄りでこれ以上仕方がない、の意味で、こう考える人が多いかもしれません。それは今現在の介護保険の仕組みが、生活に人の支えが必要と認められた人だけが使えること、出かけて人の輪に入ることが苦になる人が利用しにくい、などや、歳をとることへの後ろ向きの印象が理由のようです。

結果、介護の必要を認定された人や、進んで人の輪に交わる人は、歳をとって弱るのをおさえたようですが、そうでない人たちは、認知症による症状が進行するなどしました。しかも、症状の無かった人、軽い人の悪化がとて多いことがわかったのです。

このことから、今の仕組みでは歳をとって弱るのを防ぐことがうまく出来なかったこと、比較的元気なときから介護保険の仕組みを利用する必要性があることなどがわかりました。したがって、今度の介護保険改正はこれに的を絞った内容となっていて、65歳以上のほとんどの人が、介護予防を目標としたサービスを利用することになります。

現代人は体を動かさないし、食事の乱れのために、自然体で暮らすと弱るようです。しかし、近所で一緒になって介護予防の取組みを続けられれば、さほど苦にならずにうまくいくようです。ぜひ、今度の介護保険改正を使いこなしましょう。在宅介護支援センター 前島 正人

## ③の見直しの趣旨・内容

現在、保険給付の1割は利用者負担となっておりますが、1割負担の合計額が一定の上限額を超えた場合には、超えた分が申請により払い戻される仕組み(高額介護サービス費の支給)になっています。

この上限額が、利用者負担第2段階の方は以下のとおり引き下げられることになり、低所得者に対する負担軽減対策がより手厚いものに改善されます。

利用者負担段階	現行 (負担上限月額)	改訂	平成17年10月から (負担上限月額)
第1段階	15,000円	→	15,000円
第2段階	24,600円		15,000円
第3段階	24,600円		24,600円

以上が施設サービスにおける10月からの主な見直しポイントとなります。なお、ここに示したものはあくまでも大まかな説明になりますので、詳細につきましては沢内村保健福祉課、あるいは特別養護老人ホームぶなの園にお問い合わせください。 特養生活相談員 高橋 渉

## 第三者委員会からの報告

ホームヘルパーが、毎日十名から十五名の方を訪問して寝たきりの高齢者、介護を要する認知症の方、病氣などにより身体が虚弱(きよじやく)な高齢の方など身体上又は精神上の問題があつて、日常生活を営むのに支障がある高齢者の家庭に対して、ホームヘルパーが訪問して日常生活のお世話や身体の介護を行なっています。

社会福祉の分野に苦情解決の仕組みが導入されてから四年が経過しました。苦情受付やその解決のために、解決の過程を透明化することなどを目的として、第三者委員の制度があります。ぶなの園の施設としては、四人の方に委員を委嘱して年二回、ヘルパーの訪問家族が要望・意見・苦情がないか尋ねて回っております。



太田 深沢 ノリさん

## かたくりの園で身に付いた 私の生き甲斐

今まで何十年と生活をされてきた高齢者の方々に、さまざまな苦労や思いがあることは言うまでもありません。しかし、高齢者の方々のそうした苦労や思いを聞くことは、援助内容を考える上でとても重要になってきます。

そこで今回は、昨年の十月からデイサービスセンターかたくりの園を利用して、太田の深沢ノリさんを紹介させていただきます。折り紙や編み物、縫い物に熱心に参加され、意欲的なノリさんに、色々な思いなどを綴っていただきました。

私がかたくりの園にお世話になった動機は、ただ働くことに身を投じて来た自分でした。七十四歳になって身体の衰えを感じ、身体を悪くしない内に

**第5回 やすらぎ会文化祭のご案内**

◇と き：平成17年11月5日(土)～6日(日) 10:00～15:30

◇ところ：特別養護老人ホームぶなの園 地域交流スペースほか

◇内 容：5日(土) 作品展示、ホーム喫茶  
6日(日) 作品展示、アトラクション(ステージ)  
昼食のサービス ほか

※西和賀町の誕生直後の開催になりますので、沢内村の文化、歴史、風土をあらためて見つめ直すと共に、より住み心地の良い郷土を作っていくという気持ちを共有できるような内容を検討しているところです。

※詳しくは10月下旬に全戸配布されるご案内チラシをご覧ください。

※多くの方のご来場を、心よりお待ちしております。

## ぶなの園 買い物旅

### ～イオン盛岡～

ぶなの園では、定期的にドライブや買い物ツアーなどを行なっておりますが、今回はその一コマをご紹介します。



7月6日、その日はお昼頃からとしゃぶりの雨となり、午後1時半の出発時刻になっても止む気配は無く、参加された6名の住民もその方々を見送る職員も、盛岡が晴れていることを祈りながらの出発となりました。住民の方々は、バスの窓から見える沢内の景色をとて懐かしそうに眺め、道路や民家、そして山伏トンネルの変貌ぶりにとても驚かれた様子でした。ある住民の方は、「若い時、橋(そり)に病人乗せて何時間もかかってここまで来た事ある…」と話され、職員は胸を熱くしました。イオン盛岡で何を買いたいかたずねると、夏物のブラウスや肌着が欲しい方が多く、中にはラーメンが食べたいという方や、お菓子を買いたいという方も。「お菓子なら沢内でも(〇〇商店でも)買えるべ。」と言われ、車内は大爆笑でした。

イオン盛岡に着くと、祈りが通じたのか雨は止み、バスから降りて店内へ。建物の広さ、品数の多さ、軒を連ねる飲食店の多さに皆驚かれた様子でした。それぞれ担当職員とともに車椅子を使用し、約二時間店内を回りました。住民の方は、自分の好みの服や下着を選んで購入され、とても嬉しそうでした。希望通りお菓子を買ひ、ラーメンを食べあつという間に時間が過ぎました。イオン盛岡は、障害者用トイレも充実し、館内はバリアフリーのため、私たち職員も安心して介助させていただくことができました。帰りの車内では、「もう少し居でがった。」「まだイオンさ来てえ。」「おら明日死んでもいい。満足だ。とても楽しがった。」と笑顔で話され、その目はキラキラと輝いていました。やはり女性は、いくつになっても買い物が好きなんだなあと感じました。

今後も住民の方々に、日々の生活の中で移りゆく季節感を、目から肌からと敏感に感じたり、買い物などの機会をもっと設けていきたいと思いました。

介護職 高橋 愛子

## 少しでも家庭的な食卓を ～一緒に食べることに～

ぶなの園では今年の春から、昼食を住民と職員一緒に食べています。以前は、認知症や身体の麻痺(まひ)により自力で食べる事の出来ない方を重点に考え、摂食介助にばかり気を取られがちでした。しかし、日々の生活の中での食事の大切さはすべての住民に伝えることであつて、施設という中に家庭的な団欒(だんらん)を創り出し、一緒に食べることによつて、楽しいひとときとして共有出来れば、と考えたことが始まりでした。必要な方には介助しながら、箸の進まない方には声を掛けながら、食べながら会話が弾み、昔の話や、旬の山菜料理の作り方、呼び名の由来などを教えていただいたり、以前よりゆつたりとした雰囲気の中で食べていただけるようです。また頑固な偏食の方が、職員が大口で美味しそうにほおぼるのを見て思わず食べていただけたり、水分不足の方には、話の合間にお茶をもう一杯飲んでいただいたりと、刺激と効果も広がってきているようです。そして、「きれいに盛り付けでらなあ」「ちよつと醤油(しょうゆ)」「つこ欲しよだあ」「ぎんなの雷様(らいさま)おつかねつけなあ」「べつこ寒(さび)んびくなつてきたよだ」など会話や表情の中から、私たちのサービスの良い点、悪い点、住民のニーズや感じていることを知る貴重な時間にもなっているのです。

介護職副主任 近藤 富子



# やすらぎ会 夏祭り

第七回

七月最終土曜日の沢内村の行事として定着したやすらぎ会夏祭りが、今年も開催されました。今年、湯田町の太鼓保存会、北上市の幸の会の皆さんにより会場を盛り上げていただきました。さんさ踊りは「く正月からまぢだー♪」の唄のとおりに、今年初踊りを皆さん楽しまれた様子でした。ご来場者が例年よりはるかに多く、準備していた抽選うちわの数が足りなくご迷惑をおかけしました。来年は、たくさん準備しお待ちしております。たくさんのご来場ありがとうございました。

## 実行委員長御礼

特別養護老人ホームぶなの園の住民の方々に慰労し、地域住民の皆様との交流を目的として行われるやすらぎ会の夏祭りが去る七月三十日盛大に賑々しく開催出来ました事は、一重に地域の皆様方始め近隣市町村の方々の絶大なご支援をいただきながら「やすらぎ会」の役員の方々が日常の多忙な勤務の中、過去六回の夏祭りの経験をもとに寸暇も惜しまず一丸となつて取り組んでこられた結果と、深く感謝と敬意を表したいと思います。平成十年に開設された当施設が、現在ではすっかりと地域に根差し老後の頼れる施設

として、交流の場としてこの様に発展されたことを住民の一人として皆さんと共に喜び合いたいと思えます。この度は、夏祭りの実行委員長として、計らずも何も解らない私が仰せ付かり前委員長始め皆さんを頼りにその責務を果す事が出来ました事を大変有難く厚く御礼申し上げます。来る十一月、湯田町と合併し西和賀町となりますが当施設は勿論、行事も存続される事なれば今後皆様方の尚一層のご支援とご協力を賜ります様にお願いを申し上げます。お礼の言葉と致します。

実行委員長 盛島 榮治



ぶなの園住民 菅原ツエさん

わらしえだの踊りっこ、まんずめんこいしていがった。後は、地域の人達が来て踊ってけた盆踊りもいがった。本当にここさ入所させでもらつていがった。ありがと。

ぶなの園住民 照井寛治さん

小さい子供達の踊りにとても感動し、子供達のこれからの事を考えながら見させていただきました。また来年の夏祭りに、つながっていく事を希望します。

ぶなの園住民 福田タマさん

小さい子供たちの踊りが、めんこいしておもしろかった。上手でたいしたもんだっけ。太鼓もよかったですし、いづがまだ見でな。

住民家族 佐藤英樹様

今年で七回目の夏祭りという事で、父がお世話になってから時の速さを感じております。父の挨拶は少し心配しましたが、今年も、住民、家族、職員の皆さんと一緒にふれあい、感じ、楽しむことが出来とてもよかったです。

とても大変だったけれど、とても楽しかったです。

アトラクション参加者より JAPANSで幸の会 幸藤鶴華様

はじめて「やすらぎ会夏祭り」に出席して、とてもすばらしい企画に感銘を受けました。園と村全体がひとつになり、支えあっていると感じました。又、機会がありましたら、是非お伺いしたいと思います。

来賓 沢内病院長 新階敏恭様

やすらぎ会夏祭りを見て「ぶなの園」の嘱託医として、職員の方々と話をさせていただき、ますと、いつも、その熱心さに驚かされます。入居者、利用者の方が少しでも、心地よく過ごされますように、大変な心配りをされています。

今回、夏祭りを初めて見させていただきましたが、やはり、入居者のお年寄りが、楽しそう、面白いな表情をされていて、ご家族の方々も、とてもうれしい表情をされていて、私も心が温まりました。職員の方々も、日ごろの業務に加えて、この夏祭りの準備をされ、大忙しであったことと思いますが、お年寄りの笑顔、ご家族の笑顔で、そのご苦労もきっと報われているでしょう。

ボランティア 沢内中学校一年 久保隆子さん

私は、羽球部で、ぶなの園のお爺さん、お婆さんと夏祭りで、接待すると聞いて、お爺さん、お婆さんとうまく話せるかとても不安でした。当日、私は亀井サメさんを担当することになりました。亀井さんは、私に色々な事を話してくれたので、不安も吹っ飛びました。

アトラクション参加者より 小学一年 及川美穂さん

おしんの子守唄をおどって、たくさんのはくしゅをいただいでうれしかった。ほんおどりのたのしみさまでいて、おどりました。

アトラクション参加者より 四歳 及川真衣さん

夕鶴の舞をおどってみておじいちゃん、おばあちゃんからたくさんのはくしゅをいただきました。もつとおけいこして、おどりにいきたいとおもっています。たのしかったです。



「幸の会」の子ども達による、かわいらしい踊り



「あやあ〜、当だつてさんたあ〜」

■特別養護老人ホームぶなの園  
 ■デイサービスセンターぶなの園  
 ■沢内村在宅介護支援センター  
 ■ホームヘルプステーションぶなの園  
 ■西和賀介護相談室  
 沢内村大字太田第2地割135番地  
 電話 0197-85-2322

■沢内村高齢者生活福祉センター  
 かたくりの園  
 沢内村大字大野第17地割140番地1  
 電話 0197-85-3388



## 編集後記

今年の夏は天候に恵まれ、田んぼの稲もすくすくと育ち、黄金色になって「そろそろ刈ってください。」とおじぎをしてくれました。各地では、地震や台風の被害があり、大変な事態になっている地域があります。しかし沢内村は、すばらしい自然環境に恵まれているおかげか、それほどどの災害にあうことなく、収穫の秋を迎えております。あと少しで合併することになりますが、沢内の自然を大切に、子供からお年寄りまで安らげる西和賀町であってほしいですね。

## やすらぎ

第29号 平成17年9月25日発行

社会福祉法人やすらぎ会  
 広報委員会

高橋 宏明      高橋 直美  
 上中屋敷陽子   佐々木菜穂子  
 高橋 浩子

# 善意

平成17年6月～8月  
 ありがとうございました  
 感謝申し上げます

### 【ご寄付】

・井口 文子 様 ・北島 勇一 様

### 【ご寄贈】

・沢内村婦人連絡協議会 様  
 ・新町郵便局 様  
 ・大久保 英明 様  
 ・高橋 ミヨノ 様

### 【ボランティア等】

・どれみの会 様 (洗濯たたみ等)  
 ・長瀬野婦人会 様 (ホーム喫茶)  
 ・泉沢婦人会 様 (ホーム喫茶)  
 ・桜井 英美 様 (住民介助)  
 ・深澤 久一 様 (畑作業手伝い)



## ホーム喫茶のご案内

**開店日** 10月21日(金)  
 11月18日(金)  
 12月16日(金)

**ご利用時間** 14:00～16:30

**場 所** ぶなの園 地域交流の場

お待ちしております!

## ぶなの園 待機者情報 (平成17年9月15日現在)

### ①出身地別状況

沢内村 (26名)	秋田県 (2名)
湯田町 (5名)	東京都 (1名)
北上市 (4名)	

### ②介護度別状況

要介護1 (6名)	要介護4 (9名)
要介護2 (7名)	要介護5 (9名)
要介護3 (7名)	

合計38名

※入所を希望される方は、担当のケアマネージャ及び、ぶなの園までご連絡下さい。

在宅介護のお悩みは

## 在宅介護支援センター

【電話番号】

にご相談ください。



0120-85-2319 (支援センター直通)  
 85-2322 (土・日・祝日、夜間対応)

お気軽にどうぞ!

